

令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和3年5月27日（木）

2 調査対象 第6学年児童60名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、おおむね全国平均と同程度でした。
算数は、おおむね全国平均と同程度でした。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

◎「授業の内容がよく分かる」と回答する子どもが年々増加傾向にある。

- 算数の授業はよく分かる。
- 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。

課題が見られた項目

- ◎ICTを効果的に活用して「思考力、判断力、表現力等」の育成を意欲的に進める必要がある。
- コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。
- 5年生まで受けていた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができている。

5 学力向上の取組

今回の調査結果では活用力に関する問題に課題が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、自分の考えを発表する場の確保
- ・ICTの積極的活用（発表場面・意見交換・観察操作場面）

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○新聞について

- ・家庭で新聞にふれる機会・新聞から様々な情報を入手する機会

○地域行事等への参加

- ・多くの人とのふれあい